

# 令和元年度豊明市環境基本計画

## 第4四半期目標

豊明市経済建設部環境課

## A 自然の保全

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・自然豊かな緑地を保全し、そこに住む動植物の保護に努めます。
- ・平成27年度末の森林等緑地面積の維持に努めます。

#### (長期目標)

- ・市の全ての事業・活動は、環境保全と調和して行います。
- ・ホタル、メダカ等の身近な生き物(注1)の生息を維持していきます。

(注1) 保全目標とする生き物の種類は、調査等を行い指標生物を選定し決めていきます。

### ○令和元年度実施

- ① シラタマホシクサ、ハッチョウトンボの生息地の保全に努めた。  
(生涯学習課) 継続
- ② 大狭間湿地ナガバノイシモチソウの自生保護地の維持管理に努めた。(2,367㎡)  
(生涯学習課) 継続
- ③ 透水性舗装を行い雨水の流出抑制及び水循環に成果を上げた。(平成30年度末で17.4%を達成している。)  
(土木課) 継続
- ④ 小学校の環境学習に協力し、要望があった場合に環境団体へ水質調査キットを貸与した。  
(環境課) 継続
- ⑤ 出前講座による環境学習を実施した。  
(環境課) 継続
- ⑥ 境川の水生生物調査を行なった。  
(環境課) 継続
- ⑦ 皆瀬川で小中学生と保護者を対象とした水生生物調査を実施した。  
(環境課) 新規
- ⑧ 柿ノ木工業団地の開発においては緑地率25%を確保した(市街地整備課) 継続
- ⑨ NPOと協力し、二村山の緑地保全に努めた。  
(都市計画課) 継続

## B 風景の保全

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・二村山、二村山緑地、ナガバノイシモチソウ自生地及び大狭間湿地の保全に努めます。

#### (長期目標)

- ・次世代に伝えていきたい風景等を維持していきます。

### ○令和元年度実施

- ① ナガバノイシモチソウ自生保護地への給水、除草、遺伝子解析を行った。  
※奇形種の除去のため (生涯学習課) 継続
- ② ナガバノイシモチソウ自生保護地、大狭間湿地の一般公開を行った。  
(生涯学習課) 継続
- ③ 史跡・文化財・天然記念物の巡視を行なった。 (生涯学習課) 継続
- ④ 埋蔵文化財の所在把握と、開発業者への指導を行った。 (生涯学習課) 継続
- ⑤ 指定民俗文化財等の保存をはじめ、伝承者に補助金を交付した。(生涯学習課) 継続

## C 自然とのふれあいの確保

### 環境目標

(長期目標)

- ・全ての地域に自然とふれあえる場を確保します。

### ○令和元年度実施

- ① 市営の市民農園（5か所）のほか、JA（11カ所）、NPO、個人経営の貸農園（H23～）により、市民が農業とふれあう機会を提供した。（農業政策課）継続
- ② 学校花壇・学校農園による土とのふれあいを行った。（学校教育課）継続
- ③ 愛知県美浜少年自然の家や愛知県旭高原少年自然の家にてそれぞれキャンプ活動を行った。（学校教育課）継続
- ④ 二村山観察会による観察（不定期）を行った。（都市計画課）継続
- ⑤ ナガバノイシモチソウ自生保護地、大狭間湿地の一般公開を行った。（生涯学習課）継続
 

ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地	8月 3日・4日、9月14日・15日
ナガバノイシモチソウ	8月 5日
大狭間湿地	10月12日台風のため中止

### 公開来場者数

(単位：人)

	H29年度	H30年度	R1年度
ナガバノイシモチソウ	690	596	651
大狭間湿地	349	374	366
合計	1,039	970	1,017

## D ため池等の水辺の保全・活用

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・河川及びため池の再整備を進め、人と自然との交わりが持てる場にします。

#### (長期目標)

- ・それぞれのため池は、その個性や地域特性に応じた保全・活用を図っていきます。
- ・市内の水辺における自然な水際の残存距離を現況より延長します。

## ○令和元年度実施

- ① ため池の水質調査を行った。

(環境課) 継続

## E 水質の浄化

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・浄化槽を使用している家庭に対し、保守点検・清掃・法定検査の実施指導を強化します。
- ・単独処理浄化槽を使用している家庭に対し合併処理浄化槽設置事業費補助金制度を広く周知して合併処理浄化槽の普及に努め、生活排水の浄化を図ります。

#### (長期目標)

- ・市内のため池の水質は、COD値8mg/l(注1)以下をめざします。
- ・市内河川の水質は、BOD値5mg/l(注2)以下をめざします。

(注1)生活上不快を感じない限度の環境基準値(湖沼C類型)

(注2)コイ・フナが生息するに適する環境基準値(C類型)また、市内河川の水質目標値については生活排水対策推進計画による。

### ○令和元年度実施

- ① 生活排水の浄化のため環境課窓口や市役所受付で啓発パンフレットを配布し、河川や三河湾の浄化を呼び掛ける啓発活動を行った。(環境課) 継続
- ② 合併処理浄化槽の設置者に補助金を交付し生活雑排水も処理できる合併処理浄化槽の設置を促した。(環境課) 継続

### 合併処理浄化槽設置補助基数

(単位：基)

平成元年度から 平成28年度までの累計	H29	H30	R1 (1月末)	合計
732	30	21	6	789

注)平成30年度までは一律に合併処理浄化槽の設置者に補助金交付を行い合併処理浄化槽の設置を促していたが、令和元年度より既設の単独処理浄化槽、及び、し尿くみ取り便槽を撤去し、合併処理浄化槽へ切り替える場合にのみ補助金を交付する対象とした。

③ 河川、池等の水質調査を行った。

(環境課) 継続

平成 30 年 11 月 16 日池・河川調査実施

	若王子池	勅使池	濁池	三崎池	大蔵池	大原池	琵琶ヶ池	西池
COD (mg/ℓ)	8.9	8.1	8.3	6.7	10	5.6	20	16
	境川	若王子川	井堰川	正戸川	黒部川	皆瀬川	天王川	
BOD (mg/ℓ)	3.1	2.0	1.6	1.6	2.9	6.0	7.5	

令和元年 7 月 29・30 日池・河川調査実施

	若王子池	勅使池	濁池	三崎池	大蔵池	大原池	琵琶ヶ池	西池
COD (mg/ℓ)	29.5	7.5	5.2	5.3	14	6.3	13	11
	境川	若王子川	井堰川	正戸川	黒部川	皆瀬川	天王川	
BOD (mg/ℓ)	2.8	5.0	3.2	3.2	4.5	1.9	5.2	

BOD=生物化学的酸素要求量(参考値→3mg/L以下) COD=化学的酸素要求量(参考値→5mg~6mg以下)

④ 生活排水対策推進計画の改訂を行った。(平成31年度~42年度)

(環境課) 新規

## F 産業活動の支援

環境目標

(短期目標)

- ・小規模事業所の環境対策推進を図ります。

(長期目標)

- ・地域環境に配慮した事業活動をめざします。

### ○令和元年度実施

- ① 事業系資源の回収を商工会で行った。 (産業支援課) 継続
- ② 事業所から発生する資源のリサイクルについて、分別収集の周知徹底を促すとともに回収業者を案内した。 (環境課) 継続
- ③ 愛知県の行う産業廃棄物の調査指導に協力した。 (環境課) 継続



## G 農地の保全・農業の支援

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・農業協同組合・農業従事者・市民団体等と連携し、農業後継者の育成に努めます。
- ・遊休農地の解消のため、市民農園などの拡大や、農地バンクなどの充実に努めます。

#### (長期目標)

- ・農地を確保するとともに、増加傾向へ転じるような田畑を復旧させる工夫を行っていきます。

### ○令和元年度実施

- ① 地産地消をめざし、2か所のJA産直センターの充実に努めた。(農業政策課) 継続
- ② 農地バンク設置(H24年8月～)により市内農家及び新規就農者への斡旋を推進した。(農業政策課) 継続

農地バンク集計表(平成31年1月末現在)

利用件数

登録筆数(筆)	202
登録面積(m <sup>2</sup> )	126,290
利用権設定筆数(筆)	105
利用権設定面積(m <sup>2</sup> )	100,113

- ③ 転作を奨励し、地産地消を図った。(農業政策課) 継続
- ④ 市営の市民農園(5か所)のほか、JA(11か所)、NPO、個人営の貸農園(H23～)により市民が農業とふれあう機会を提供した。(農業政策課) 継続

地目別土地利用面積(令和元年10月1日現在(単位:ha))

	令和元年
田	338.21
畑	225.13
合計	563.34

## H 水とまちづくり

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・歩道透水性舗装整備を進めます。

#### (長期目標)

- ・緑地等の雨水浸透面積の確保をめざします。

### ○令和元年度実施

- ① 透水性舗装を行い雨水の流出抑制及び水循環に成果をあげている。(土木課) 継続  
(平成30年度末で17.4%を達成している。)
- ② 大宮児童館には雨水利用設備を配置している。(子育て支援課) 継続
- ③ 中央小学校校舎増築工事において貯留タンクを設置して、雨水を散水利用している。  
(学校教育課) 継続
- ④ 既設の単独処理浄化槽及び、し尿汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を行った者に補助金を交付した。(環境課) 継続
- ⑤ 小学校においてトイレ改修工事を行い、自動水栓やセンサースイッチ等を設置し、節水、節電に心がけた。(H30～)  
(学校教育課) 継続

## I 災害に強い都市づくり

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・自主防災組織の充実をめざします。
- ・災害備蓄場所の増加・充実を図ります。

#### (長期目標)

- ・市民の生命、身体及び財産を災害から保護することをめざします。

### ○令和元年度実施

- ① 自主防災組織連合会を通じ防災リーダー等の育成を図った。(防災防犯対策課) 継続
- ② 計画的に避難所の設営訓練に取り組んだ。(防災防犯対策課) 継続
- ③ 災害時に利用できる市内 76 か所の登録井戸に対し水質検査を行った。(防災防犯対策課) 継続
- ④ 木造住宅耐震シェルター整備への補助を設けている。(都市計画課) 継続
- ⑤ 都市計画道路の歩道に透水性舗装等を設けている。(都市計画課) 継続
- ⑥ 災害廃棄物処理計画を全面見直しした。(H30～) (環境課) 継続

### 災害備蓄場所整備数

(単位：箇所)

～H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	合 計
21	3	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	24

## J 潤いと安らぎのあるまちづくり

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・都市公園の整備を推進します。

#### (長期目標)

- ・市民・ボランティア・事業者・行政の協力体制を確立し、潤いと安らぎのあるまちづくりをめざします。

### ○令和元年度実施

- ① アダプトプログラム制度（H30 現在 40 団体登録）の充実を図るとともに、地域美化活動への支援を行った。（市民協働課・土木課・都市計画課・環境課）継続
- ② 5月を「とよあけクリーン月間」とし、啓発活動を実施した。（環境課）継続
- ③ 全面供用開始した勅使水辺公園の維持管理をした。（H25～）（都市計画課）継続
- ④ あいちの森とみどりづくり事業（都市計画課）継続
  - ・ハンギングバスケットセミナー
  - ・事務所地内の緑化への補助金の交付（屋上、駐車場、空地、生垣等）
- ⑤ 市内公園でグリーンフェスタを開催した。（都市計画課）継続

住民1人当たりの都市公園の敷地面積 各年4月1日現在（単位：㎡/人）

H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
4.38	4.38	4.38	4.38

## K より良い道路環境づくり

### 環境目標

#### (長期目標)

- ・道路における各種公害に関しては、法令等で定められた環境基準・規制基準値内を維持します。

### ○令和元年度実施

- ① 環境に配慮した低排出ガス重量車適合のひまわりバスを3台体制で公共交通機関としての充実を図った。 (企画政策課) 継続
- ② 地域の交通不便を解消するため、デマンド型交通「チョイソコとよあけ」の実証実験を行った。 (企画政策課) 新規
- ③ 歩道の整備、段差解消を行った。 (土木課) 継続
- ④ 前後駅南、豊明駅南月ぎめ駐車場を運営した。 (都計計画課) 継続
- ⑤ 犬の飼い方教室を開催し、道路環境改善のため犬の糞の放置防止等飼い主のマナー向上を図った。 (環境課) 継続
- ⑥ 阿野・大脇の大気環境測定局の維持管理を行った。 (環境課) 継続
- ⑦ 自動車騒音の測定を行った。 (環境課) 継続  
(国道23号、国道1号、県道瀬戸大府東海線)

自動車騒音測定結果

(基準) 環境基準：昼間 70 dB 以下、夜間は 65 dB 以下、  
要請限度：昼間 75 dB 以下、夜間は 70 dB 以下

国道 23 号

(LAeq 測定単位: dB)

測定日	測定場所	測定結果					
		昼間	環境基準	要請限度	夜間	環境基準	要請限度
平成 29 年 1 1 月	栄町高根 1 0 3	7 2	×	○	7 1	×	×
平成 30 年 6 月	栄町高根 1 0 3	7 2	×	○	7 1	×	×
令和元年 6 月	栄町高根 1 0 3	7 2	×	○	7 1	×	×

国道 1 号

(LAeq 測定単位: dB)

測定日	測定場所	測定結果					
		昼間	環境基準	要請限度	夜間	環境基準	要請限度
平成 29 年 1 1 月	前後町善江 1 7 1 7 - 3	7 0	○	○	6 6	×	○
平成 30 年 6 月	前後町善江 1 7 1 7 - 3	6 8	○	○	6 5	○	○
令和元年 6 月	前後町善江 1 7 1 7 - 3	6 8	○	○	6 6	×	○

県道瀬戸大府東海線

(LAeq 測定単位: dB)

測定日	測定場所	測定結果					
		昼間	環境基準	要請限度	夜間	環境基準	要請限度
平成 29 年 1 1 月	新田町子持松 1 - 1	7 1	×	○	6 6	×	○
平成 30 年 6 月	新田町子持松 1 - 1	6 9	○	○	6 5	○	○
令和元年 6 月	新田町子持松 1 - 1	7 0	○	○	6 6	×	○

## L 環境汚染のないまちづくり

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・環境汚染の監視及び指導体制の強化を図ります。

#### (長期目標)

- ・道路、工場・事業所、事業活動、廃棄物処理等、市内の施設・活動による環境影響や環境汚染の監視を行っていきます。
- ・各種規制対象物質においては、規制基準値内を維持していきます。

### ○令和元年度実施

- ① 公害苦情対策として監視活動を行った。 (環境課) 継続
  - ・環境監視員を2名体制で、休日も苦情対応できるよう体制を強化している。
  - ・河川、池、排水路の水質調査を行った (7月・12月)
  - ・一般生活上の公害・苦情の早期解決に努めた (随時)。
- ② 広域連携による公害・環境対策を行った。 (環境課) 継続
  - ・尾張東部環境保全連絡協議会 (5回)  
(事務連絡会・実務研究会等)
  - ・境川流域公害担当者連絡会 (2回)  
(4市1町境川水生生物調査・担当者会議視察研修)
  - ・名古屋市隣接市町不法投棄連絡協議会 (2回)  
(不法投棄防止キャンペーン)
  - ・尾張東部地域環境保全委員連絡会 (5回)  
(東郷町エコばんぱく視察等)
- ③ 市内事業所と公害防止協定を締結した。 (環境課) 継続
- ④ 愛知県と地域環境保全委員と協力し、不法投棄防止に関する巡回を実施した。 (環境課) 新規

## M 快適で安全な都市づくり

### 環境目標

#### (長期目標)

- ・環境調和型・配慮型事業所の増加をめざします。
- ・快適で安全な都市基盤整備の達成をめざします。

### ○令和元年度実施

- ① 豊明駅・前後駅駐輪場に防犯カメラを設置している。 (防災防犯対策課) 継続
- ② メール配信サービスにより犯罪情報のネットワーク化を図った。 (防災防犯対策課) 継続
- ③ 地域安全監視員を設置している。(H16～(平成25年度から2名体制)) (防災防犯対策課) 継続
- ④ 市民活動であるセキュリティーポリスが防犯活動を行っている。 (防災防犯対策課) 継続
- ⑤ 災害時の対応について、地域防災計画を毎年改定している。(H27 全面改訂) (防災防犯対策課) 継続
- ⑥ 駅駐輪場の自転車盗難防止のため、啓発活動を行った。 (防災防犯対策課) 継続
- ⑦ 土地区画整理事業の推進を図り良好な住環境を確保するために住民の意見を聞いた。整備済面積(358.68ha)(市街地の50.7%) (市街地整備課) 完了
- ⑧ 道路側溝に蓋を設置した。 (土木課) 継続



## N ごみから超ごみへの転換

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・一人一日あたりのごみ排出量の減量をめざします。
- ・事業系ごみ減量の啓発に努めます。

#### (長期目標)

- ・市民・事業者・行政の協力・連絡体制を確立するとともに、その取組を豊かなまちづくりに活かしていきます。
- ・市内全ての廃棄物の処理や投棄について、環境影響や環境汚染を監視していきます。
- ・ごみゼロ社会をめざします。

### ○令和元年度実施

#### ①ごみの減量化に向け、以下の代表的な取り組みを行った。(環境課)

- ・ 家庭用堆肥発酵促進剤「ボカシ」を無料配布した。 継続
- ・ ごみの組成調査(可燃・不燃・プラスチック製容器包装)を行い、分別意識の徹底を図った。 継続
- ・ 「譲ります」「譲ってください」に申し込まれた品物を随時ホームページに掲載し、再利用(リユース)の推進をはかった。 継続
- ・ 小型家電回収(H24～)。 継続
- ・ 生ごみ堆肥化容器(コンポスト、バケツ)の購入者に補助金を交付。 継続
- ・ 「食品ロス」削減のための広報やチラシによる啓発を行った。 継続
- ・ エコ・クッキングの推進PR、エコ・クッキング教室を開催(12月)した。 継続

#### ② その他犬のふん害防止の対策として主に以下の取り組みを行った。 継続

- ・ 犬の飼い方教室を開催し、犬のふんの放置防止等飼い主のマナー向上を図った。 継続
- ・ 犬のフン害不法投棄防止看板を無料配布した。(2種類の看板を配布。) 継続

## ○ 食の安全

### 環境目標

#### (長期目標)

- ・有機農産物、食品添加物等、食の安全に関する情報を提供します。
- ・地元での食料自給によって食の安全をめざします。

## ○令和元年度実施

### <食の安全>

#### ①保育園の給食における取り組み

- ・食材納入時に成分表等の提出を求め、成分の確認作業を実施している。  
(保育課) 継続
- ・平成24年度から試行を進めていたポリエチレンナフタレート製の食器を今後全園に拡大することを決定した。平成30年度全園実施。  
(保育課) 継続

#### ②学校給食における取り組み

- ・業者が提出する食品チェック表により、厳しく細かく審査している。  
(食品チェック表：原材料原産国、加工工場、配合割合、食品添加物等を記載)  
(学校教育課) 継続
- ・国産品及び地元産をできるだけ使用している。  
(学校教育課) 継続
- ・食器類の衛生検査を定期的実施している。  
(学校教育課) 継続
- ・放射能測定器を購入して、測定を開始し、測定結果については随時ホームページにて公表している。  
(学校教育課) 継続

#### ③ 栽培日誌による安全な作物の提供を図った。 (農業政策課) 継続

### <地産地消>

- ① 保育園の米飯給食に一部豊明産米を使用している。  
(保育課) 継続
- ② 豊明産大豆を使用した「味噌作り講座」を開催した。  
(農業政策課) 継続
- ③ 学校給食で豊明産の米・野菜等を使用している。  
(学校教育課) 継続

## P 地球規模で考えるこのまちの取り組み

### 環境目標

(長期目標)

- ・省エネルギーに努め、二酸化炭素の排出量の削減（1990年比6%減）をめざします。

### ○令和元年度実施

- ① 水上太陽光発電事業（若王子池）（H29～）（環境課）継続
- ② 家庭用燃料電池（エネファーム）の設置者に対し補助金を交付。（環境課）継続
- ③ 地球温暖化対策として市役所全庁で電気やガス、紙の使用量等を削減するため「とよあけエコアクションプランVersion4」に基づき取り組んだ。（環境課）継続
- ④ 小中学校の屋上で太陽光発電屋根貸し事業を開始した。（H26～）（環境課）継続
- ⑤ 電動バイクを導入している。（ガソリン34・軽油2・電気1）（総務課）継続
- ⑥ 会議室の冷暖房に設定温度制限を行う等省エネに配慮している。（総務課）継続
- ⑦ グリーンマーク商品の購入を進めた。（総務課）継続
- ⑧ 市役所新館のトイレ用水に雨水を利用している。（総務課）継続
- ⑨ 二村児童館の館庭を芝生化している。（子育て支援課）継続
- ⑩ ガス重量車適合のバスをH22年度に2台 H24年度に1台購入し、3台で運行している。（企画政策課）継続
- ⑪ 脱レジ袋への取り組みを行うためにレジ袋削減事業所を推進した。（H19～）（環境課）継続
- ⑫ 市民への啓発・支援策として、ゴーヤの種を無料配布した。（環境課）継続
- ⑬ 中央小学校校舎増築工事において壁面緑化に対応した設備を設置している。（学校教育課）継続
- ⑭ 図書館・南部公民館で「あいちクール&ウォームシェアスポット」に登録した。（環境課・学校教育課・生涯学習課）新規

## Q 環境教育

### 環境目標

#### (短期目標)

- ・児童生徒の環境学習機会を増やします。

#### (長期目標)

- ・全ての市民が環境を学び、良く知ることができる機会を創出します。

## ○令和元年度実施

### <保育園の取り組み>

(保育課) 継続

- ① 給食やおやつ時等園生活の中で出たごみを燃えるごみとプラに分けごみ箱に入れることを体験させた。

### <小中学校の取り組み>

(学校教育課) 継続

- ① 沓掛小学校環境学習で、井堰川の生物調査を行った。
- ② 小中学校で総合的な学習の時間や生活科の授業などを利用して児童生徒が落ち葉堆肥を利用した農園活動・緑化推進活動を行った。
- ③ 校区内のごみを拾う等の清掃・美化活動等を行った。

### <生涯学習の取り組み>

(生涯学習課) 継続

- ① 出前講座を実施・学校の環境学習への協力を行った。
- ② 自然を題材とした市民講座を開催した。

### <環境課の取り組み>

(環境課) 継続

- ① 出前講座を実施した。
- ② 太陽光発電屋根貸し事業を開始し、市内小中学校に CO2 削減への効果が可視化できる装置を設置し小中学生の環境学習を支援した。(環境課・学校教育課) 継続
- ③ 小中学生及びその保護者を対象に、地域の方々と協力し皆瀬川の生き物調査を実施した。(環境課) 継続

## R 市民参加・市民行動

### 環境目標

#### (長期目標)

・全ての市民が環境について考えたり、行動することができる機会を持ちます。

【目標値】環境審議会市民公募委員：2名（維持）

### ○令和元年度実施

- ① 住民の意見の政策反映のためのパブリックコメントを実施した。  
(企画政策課) 継続
- ② アダプトプログラムを実施した。  
(市民協働課・土木課・都市計画課・環境課) 継続
- ③ 市民活動室の提供、市民活動情報誌の発行等の支援を行った。  
(市民協働課) 継続
- ④ 市民提案型まちづくり事業により市民活動団体に財政支援を行った。  
(市民協働課) 継続
- ⑤ 市民が取り組む環境活動に、公用車や備品の貸し出しを行った。(H17～)  
(市民協働課) 継続
- ⑥ 街区公園の再整備やため池改修において、地域住民の意見を反映させた。  
(都市計画課) 継続
- ⑦ 小中学校で太陽光発電屋根貸し事業を行った。(環境課) 継続
- ⑧ 地域内経済の活性化と再生可能エネルギーの重要性を再認識する機会を提供するため、太陽光発電装置を設置する民間事業者に終末処理場跡地の貸出しを継続する。  
(総務課) 継続
- ⑨ 豊明市の環境概況（年度版）により観測データ等を公表した。(環境課) 継続

## S 環境施策の推進（市民・事業者・行政のパートナーシップ）

### 環境目標

#### （短期目標）

- ・環境基本計画の推進や環境施策の実行等をチェックする、市民と事業者と行政とのパートナーシップによる組織をつくります。
- ・環境基本計画の進捗状況を公表します。

### ○令和元年度実施

- ① 尾張東部土地利用対策連絡会を通して環境施策を検討している。（企画政策課）継続
- ② 境川総合流域公害担当者会議（4市1町）・三河湾浄化推進協議会へ加入し、意見交換を行った。（環境課）継続
- ③ 外国籍の市民に地域ルール of 周知を促すため、市ホームページ・外国版広報に「ごみの分け方・出し方」を掲載した。（市民協働課）継続
- ④ 道路・公園等の清掃・保全活動に対し、アダプトプログラム（令和2年1月現在（団体39・個人24）2,905名）が登録している。（H17～）（市民協働課）継続
- ⑤ アダプトプログラム制度を広くPRするため、市の広報誌及びホームページに掲載し区長会において制度説明を行った。（市民協働課）継続
- ⑥ 市民活動団体等の活動拠点や交流・意見交換の場として市民交流センターを開設した。（市民協働課）継続
- ⑦ 市民活動情報誌「collabo コラボ」を発行した。（市民協働課）継続
- ⑧ 市民活動情報サイトの整備充実を図った。（市民協働課）継続
- ⑨ 地域一括交付金・資源回収事業奨励金により地域美化活動を支援した。（環境、市民協働課）継続
- ⑩ 外国籍の市民に家庭から出るごみの出し方（分別のルール）や各地域の収集日などについてチラシを作成し配布した。  
また、市のホームページにも外国語版を作成し、掲載した。（環境課）継続

